

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2025年6月分)

2025年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[トロイカ、HDZBiH、HDZ1990及びRS野党参加の和平履行評議会\(PIC・SB\)政務局長級会合の開催\(2日～3日\)](#)

●[欧州人権裁判所\(ECTHR\)によるコバチェビッチ第1審判決の無効化\(25日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[ボシュニャク系与党連立トロイカとHDZBiHの会談\(5日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[ドディックRS大統領の有罪判決に対する第二審公判の開始\(12日\)](#)

●[RS政府による警察予備隊の創設を可能とする警察法改正\(23日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[クリシュトBH閣僚評議会議長による欧州国境沿岸警備機構\(FRONTEX\)との新たな地位協定の署名\(10日\)](#)

●[OIC外相理事会でのBH情勢に関するイスタンブール宣言及び決議の採択\(22日\)](#)

(2) 二国間関係

●[コナコビッチBH外務大臣と、ビエーレ・デンマーク欧州担当大臣の会談\(25日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[相木大使のヘレズBH副首相兼国防大臣表敬\(3日\)](#)

●[令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ガツコ市サボ・ブンビッチ診療所整備計画」引渡式の実施\(11日\)](#)

●[相木大使のBH中央選挙管理委員会委員長との会談\(19日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

●[Viaduct 判決の支払期限を超過\(17日\)](#)

(3) 経済協力

●[EUによるエネルギー効率向上及び水道網再建に関する無償資金協力の署名\(24日\)](#)

(4) 民間セクター

●[サラエボにて第6回目のBHプライドマーチが開催\(14日\)](#)

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●トロイカ、HDZBiH、HDZ1990及びRS野党参加の和平履行評議会(PIC・SB)政務局長級会合の開催(2日～3日)

2日から3日にかけて、和平履行評議会運営委員会(PIC・SB)は、BH議会においてトロイカ、HDZBiH、HDZ1990及びRS3野党の政党代表者を招待した拡大会合を含む政務局長級会合を2日間にわたって開催した。同拡大会合では、PICによるBHでの新たな多数派の形成に向けた議論が交わされたとみられている。

●サラエボでの欧州ラビ会議(CER)キャンセルに関する動向(10～16日)

16日から18日にかけて、サラエボのスイスホテルで開催予定とされていた欧州ラビ会議(CER)がキャンセルされ、国内外で物議を醸している。同会議は「聖地におけるユダヤ人国家イスラエルの回復」を使命としていることから、10日のデリッチBH連邦労働社会政策大臣の公開声明を含めた地元住民の強い反対を受けて、サラエボでのCER常任委員会の開催中止が発表され、ゴールドシュミットCER会長はBHのEU加盟交渉を取りやめるべきと強く批判した。その後、欧州委員会は本件に関して遺憾の意を表明したが、BHのEU統合に向けた取り組みは継続する旨を発表した。

●欧州人権裁判所(ECtHR)によるコバチェビッチ第1審判決の無効化(25日)

25日、欧州人権裁判所(ECtHR)は、大法廷(Grand Chamber)において、BH政府側の異議申し立てを支持し、2023年6月の小法廷(Chambers)でのコバチェビッチ判決を無効とする決定を下した。同裁判所は、受理可能性の濫用があったこと及び被害者としての地

位を欠いていたことを理由として、申請の受理に対する政府の異議申し立てを支持した。同決定を受けて、申立人であるコバチェビッチ氏は同決定に政治が深く関与したと批判した。

●BH閣僚評議会での西バルカン成長計画に向けた作業部会設立に関する採択(27日)

27日、BH閣僚評議会において緊急特別会合が開催され、西バルカン成長計画の実施に向けた改革計画の策定を目的としたボスニア・ヘルツェゴビナ閣僚評議会特別作業部会の活動に関する決定を採択した。

(2) エンティティ、特別区

ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●ボシュニャク与党連立トロイカとHDZBiHの会談(5日)

5日、トロイカのコナコビッチSDP党首、フォルトNiP党首、ニキシッチNS党首及びチョービッチHDZBiH党首はコニックに集結し、BH連邦エンティティレベルでの協力を模索する政策協議を実施した。同会合内容については明らかにされていないが、合意された改革の実施及び数ヶ月にわたるBH連邦議会の機能不全に関する直近の情勢について話し合われたと伝えられている。

イ スルブスカ共和国(RS)

●ドディックRS大統領のハンガリー訪問(5日)

5日、ドディックRS大統領が、ブダペストを訪問し、オルバーン・ハンガリー首相、ビドビッチ・ハンガリー財務大臣と会談を実施した。なお、RSからはブディミルRS科学技術・高等教育大臣、ジョキッチRSエネルギー・鉱山大臣等が同行した。会談の中では、経済的、政治的、戦略的課題、及び以前に合意された任務やプロジェクトの実施状況について議論され、新しい協力のあり方、一連の経済政策、エネルギー及び教育、テロリズムに対する協力強

化として警察の共同訓練の実施についても議論された。

●マツート・セルビア首相のRS訪問(7日)

7日、ドディックRS大統領は、RS内のヴィンエグラードを訪問した、マツート・セルビア首相と会談した。両者は、ベオグラードでの「全セルビア人会議」宣言の採択一周年を記念し、セルビアとRS両政府のあらゆる部局は覚書と協定によって連結しており、同宣言にはコンボ・メトヒヤ問題及びBH上級代表に向けた明確なコミットメントも含まれていることを強調した。

●ミリチェビッチ・セルビア民主党(SDS)党首の逮捕に関する動向(9日～11日)

9日、ミリチェビッチSDS党首兼テスリッチ市長、他2名が贈収賄に関与した疑いで逮捕された。RS内務省及びRS高等司法検察局は汚職防止特別部の監督下で捜査を進めた結果、M, Mというイニシャル(ミラン・ミリチェビッチ)が付された書類と40万KMが見つかり、テスリッチ市議会の議員買収のために渡した金として合計9万KMが押収されたと発表した。SDSはRS当局による同検挙は単なる法律の適用ではなく、政治的暴力であり、政権側がテスリッチ市での多数派を失うことを恐れ、圧力をかけた結果であると批判。11日には、SDSの支援者やスタニブコビッチ民主進歩党(PDP)党首等もバニャ・ルカ地方裁判所前に集結し、ミリチェビッチをただちに釈放することを求める抗議活動が行われた。同日、ミリチェビッチSDS党首及び他2名は拘留状態にあったが釈放された。

●ドディックRS大統領の有罪判決に対する第二審公判の開始(12日)

12日、BH裁判所において、2月26日のドディックRS大統領の有罪判決に対する検察

側、弁護側双方の控訴を受け、第二審の公判が開始した。当初午後1時に開始が予定されていた第二審は、ドディックRS大統領及びルキッチRS官報事務所長官の弁護側により、第二審の裁判官3名のうち2名が第一審の判決に関与しており、BH刑事訴訟法第29条で定められている不適格事由にあたるとして、両名に対して不適格である旨の申し立てをしたが、同申し立ては却下され、同日午後4時に延期され、再開した。弁護側は、問題となっている「上級代表命令不履行法」のRS法令にドディックRS大統領が署名した時点では、シュミット上級代表による決定は予見可能性と適用可能性の原則に基づき、発効していなかったと主張。一方検察側は、刑事犯罪の犯行態様、公判中及び公判後のドディックRS大統領の行動から第一審の判決は不十分であり、懲役1年では予防効果がないとしてさらなる厳刑を求めた。

●ドディックRS大統領のサンクトペテルブルク訪問(18～21日)

18日から21日にかけて、ドディックRS大統領は、サンクトペテルブルクで開催された国際経済フォーラムに参加するため、ロシアに訪問した。サンクトペテルブルク市知事、2つの共和国首長、マトビエンコ・ロシア連邦院議長及びボロジン・ロシア国家院議長と会談した。同訪問では、ドディック大統領本人からプーチン・ロシア大統領との会談が行われる見込みであることが当初発表されていたが、会談は実現しなかった。

●RS政府による警察予備隊の創設を可能とする警察法改正(23日)

23日、RS政府は、警察予備隊(Auxiliary Police Force)の創設を可能とする警察法改正を採択した。記者会見の中で、カランRS内務

大臣は常勤警察官が1000人不足しており、同予備隊の具体的な隊員数については未定であるが、特に2014年に経験した自然災害の事例や昨今の移民問題を思い起こせば、追加の警察部隊を確保する必要があるとし、警察予備隊は予備軍でもなく、軍事的な部隊でもなく、ほとんどのEU加盟国が同様の部隊を編成していることを強調した。

ウ ブルチュコ特別区

●ソレカEU大使とブルチュコ特別区代表団の公式会談(25日)

25日、ブルチュコ特別区代表団(ミリッチ同区長、ブルチェビッチ同区議会議長、ドミッチ同副市長等)は、ソレカ当地EU大使の元を訪問し、EU加盟プロセスに向けた立法的改革、制度的透明性の改善、情報セキュリティの強化及びEU基準の警察法整備等の具体的な議論を交わした。EUはこれまでに、ブルチュコ特別区の近代化に向けた300万ユーロ及びサヴァ川(リバツァ)の河床掘削850万ユーロを投資しており、さらなる経済発展の機会創出に向けた意見交換も見られた。会談後、ソレカ大使は、ブルチュコにおける多様性と協力のモデルはBH他地域の指針となり、輸送のハブとなっているブルチュコはEU統合によってさらなる恩恵を享受するだろうとソーシャルプラットフォームX上でコメントを投稿した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●クリシュトBH閣僚評議会議長による欧州国境沿岸警備機構(FRONTEx)との新たな地位協定の署名(10日)

10日、クリシュトBH閣僚評議会議長は、ブリュッセルを訪問し、EUとのFRONTExの新

たな地位協定を署名した。同協定は欧州の国境警備隊による不法移民の取り締まりの枠組みに参加し、より効率的な移動管理、不法な越境行為の撲滅、及び国境警備の強化を目的とした人材派遣を行うことを内容としている。クリシュト議長は、BHとその警察機関が信頼性のあるパートナーとしてEU国境を保持するための支援を受け入れる協定であり、EU統合に向けて極めて重要なステップとなる。

●コナコビッチBH外務大臣のGLOBESEC参加(12～14日)

12日から14日にかけて、コナコビッチ BH外務大臣はプラハ・チェコを訪問し、グローバル安全保障(GLOBESEC)フォーラム2025に参加した。同訪問に際して、コナコビッチ外務大臣はパネルディスカッション「EU拡大: 現実に向かって動き続ける」に参加し、2024年3月にEUの加盟交渉が正式に開始されたことに触れ、EUによる明確なビジョン及び政治的決定の必要性について強調した。その後、コナコビッチ大臣は、ゴルツェビッチ・モンテネグロ欧州担当大臣及びリパフスキー・チェコ外務大臣等と会談し、EU統合に向けた意見交換とBHにおける鍵となる改革に向けた両国の継続的な支援に改めて謝意を示した。

●OIC外相理事会でのBH情勢に関するイスタンブール宣言及び決議の採択(22日)

22日、第51回イスラム協力機構(OIC)外相理事会がトルコのイスタンブールで開催され、RS指導部とBHの崩壊に向けた試みを非難したイスタンブール宣言及びBH情勢に向けた特別決議が採択された。同理事会の議長はエルドアン・トルコ大統領が務め、オブザーバー国としてコナコビッチBH外務大臣も出席した。同宣言では、RS指導部が追求する破壊的な政策が、 Dayton 和平合意とBH憲法秩

序の基礎に深刻な影響をもたらしていることへの深い懸念が表明された。

(2)二国間関係

●コナコビッチBH外務大臣のスペイン訪問(9日)

9日、コナコビッチBH外務大臣は、スペインを訪問し、アルバレス・外務・EU・協力大臣と会談した。コナコビッチ大臣は、昨今のBH情勢、特にドディックRS大統領による憲法秩序に対する攻撃及びRS野党のEU加盟に向けた積極的姿勢について情報共有し、アルバレス大臣はスペインとBHの良好な友好関係を強調するとともに、BHと西バルカン地域の完全なEU統合が長期的なヨーロッパ全体の利益を確保するための鍵となることを指摘した。両者は、二国間協力の継続、2023年の二国間の覚え書の実施、EU4Justice プロジェクト(フェイズ2)を通じた法の支配の実現のためのスペインによるBH支援、バルカン成長計画(Growth Plan)を通じたEU加盟への進捗状況、FRONTEX合意及び EUFOR Althea ミッションへの参加等について議論した。

●ベチロビッチ及びコムシッチ BH 大統領評議会メンバーの英国訪問(17日)

17日、ベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバー及びコムシッチ同評議会クロアチア系メンバーは、セント・ポール大聖堂で開催された英国のスレブレニツァ追悼記念式典に参加するため、英国・ロンドンを訪問した。

ベチロビッチ・ボシュニャクメンバーは、演説の中で、英国が2015年にスレブレニツァに関する国連安保理決議案を提出したこと及び2024年5月のスレブレニツァ虐殺の追悼記念日の国際デーに関する国連総会決議の準備と採択に多大なる支援を提供してくれたことに対して深い謝意を表明した。

また、コムシッチ・クロアチア系メンバーはスレブレニツァが30年間、平和とは単に戦争がないということではなく、正義と真実、そして人間の尊厳が必要であることを思い出させ、今日の世界で巻き起こっている正義なき平和についてこれまで以上に認識する必要がある旨を強調した。その後、両メンバーはダウティ英国閣外大臣(欧州担当)と会談し、今年英国で開催が予定されている「ベルリン・プロセス首脳サミット」への期待を膨らませた。

●コナコビッチBH外務大臣と、ビエーレ・デンマーク欧州担当大臣の会談(25日)

25日、ビエーレ・デンマーク欧州大臣はサラエボを訪問し、コナコビッチBH外務大臣と会談した。コナコビッチ大臣は、在BHデンマーク大使館の再開について歓迎し、デンマークが次期EU議長国に就任することを踏まえて、今回の訪問はBHのEU統合に向けた重要なステップとして位置づけられることを強調した。ビエーレ大臣は、デンマークはBH市民のためのEU加盟に向けた情熱を支持することを優先し、デンマークは条件が整い次第、さらなる交渉を開始する用意ができていると述べた。

(3) 日・BH関係

●相木大使のヘズBH副首相兼国防大臣表敬(3日)

3日、相木大使は、ヘズBH副首相兼国防大臣に表敬訪問を行いました。日本とボスニア・ヘルツェゴビナとの協力関係全般について議論すると共に、防衛分野を含め協力関係を更に強化していく可能性について意見交換を行いました。



(写真:) 表敬訪問の様子

●令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ガツコ市サボ・ブンビッチ診療所整備計画」引渡式の実施(11日)

11日、相木大使は、スルブスカ共和国・ガツコ市を訪問し、ゴベダリツァ市長、ミリコビッチ＝マンディッチ同診療所長等と共に、令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力事業「ガツコ市サボ・ブンビッチ診療所整備計画」の引渡式に出席しました。



(写真:) 引渡式の様子

●相木大使のBH中央選挙管理委員会委員長との会談(19日)

19日、相木大使は、ボスニア・ヘルツェゴビナ中央選挙管理委員会(CEC)のハジアブディッチ委員長を訪問し、当地の選挙実施における様々な取り組み及び課題につき説明を受けました。相木大使からは、民主主義の根幹たる選挙において重要な役割を果たしているCECの尽力に対し、国際社会の一員として強い支持を表明しました。



(写真:) 会談後の様子

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2025年5月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比3. 2%プラス。前年同月比0. 8%マイナス。

●雇用／失業率

2025年4月の失業者登録数は約32万人(うち女性約19万人)で、前月比では1. 3%マイナス、前年同月比で3. 0%マイナス。

●平均給与

2025年4月の平均給与(手取り)は1, 545 KMで、前月比で名目賃金は0. 7%プラス、実質賃金は0. 4%プラス。前年同月比で名目賃金は12. 4%プラス、実質賃金は8. 7%プラス。

●消費者物価指数

2025年5月の消費者物価指数は前月比0. 2%プラス。また、前年同月比で平均3. 7%プラス。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0. 9%のプラス。

●貿易収支

2025年5月のBHからの輸出総額は70. 68億KM(前年同期比6. 4%増)、BHへの輸入総額は122. 29億KM(前年同期比4. 7%増)。貿易収支は51. 61億KMの赤字。

(2) 経済政策・公共事業

●Viaduct 判決の支払期限を超過(17日)

17日、スロベニア企業 Viaduct の法定代理人がBHに対して、水力発電所建設のコンセッション契約の解除に対する補償として1億1000万KMの支払いを命じた3ヶ月の期限が到来したため、再び1日あたり約9,570ユーロ(1万8,600KM)ずつ利子の増加が始まった。6月上旬にかけて、BH大統領評議会では、同債務の支払いをBH中央銀行の利益分で

解決するアミジッチBH財務大臣の提案が提出されたが、ベチロビッチ及びコムシッチ同評議会メンバーの支持を得ることができず、RS政府に対する償還請求訴訟を含めた形での解決策が見いだせないまま、協議は停滞。

(3) 経済協力

●EUによるエネルギー効率向上及び水道網再建に関する無償資金協力の署名(24日)

24日、ソレカEU当地特別事務所代表は、トゥズラ・カントンのエネルギー効率向上及びサラエボ・カントンの水道網の現代化に向けた総額580万ユーロ規模の無償協力プロジェクトの実施が合意されたことを発表した。トゥズラのプロジェクトは、西バルカン地域エネルギー効率上昇計画(REEP)に基づき実施され、173の公的施設を再建することを目的としており、サラエボのプロジェクトは、EU 加盟前支援の枠組みの延長線上で、1,100キロメートル以上にわたる老朽化した水道網の再建を実施する。

(4) 民間セクター

●サラエボにて第6回目のBHプライドマーチが開催(14日)

14日、「Love Rules」というスローガンの下、第6回のBHプライドマーチ(性的少数者の権利向上を訴える集会)が開催された。国内からは主に我々の党(NS)所属のフォルトBH運輸・通信大臣、ユリシッチBH人権難民副大臣等が参加した。BHプライドマーチは、BHにおける同性婚の法的承認、性自認に関する法律の採択、家庭内暴力からの LGBTQI+ の保護、ヘイトクライムの刑法への導入及びサラエボ州における公的集会に関する法律の欧州基準に沿った改正といった、5つの要求を主張している。